

もやい 令和3年度 第11回定例会議事録

日時 : 11月5(木) 13:00~14:30

場所 : 市民活動支援センター

出席者 : 田中、大福、廣川、石見、添田、久保田、(欠 平井、植村)

【1】第1回勉強会について(アンケート調査)

- ①日時:10月14日(水)13:30~15:00 労政会館第4会議室
- ②参加者: 第2層生活支援コーディネーター(10)、包括担当者(6)、B登録団体(6)、講師(4)、もやい(6)、市(1)、トヨタ(2) 合計: 35人
- ③アンケート実施(講師など関係者除く 22人に依頼) 担当:石見、大福
 - ・メール、FAXで依頼
- ④当日の反省・感想など
 - ・会場が狭かった
 - ・これからの抱負を理事長がすべきだった
 - ・主催者があまり表面に出ない方が良い
 - ・佐藤さんの事例紹介が良かった
 - ・トヨタの事務局参加は良かった
 - ・最初の計画と実際の内容が違っていた
- ⑤報告書作成中(廣川、大福)

【2】八王子市福祉部打合せ

【1】10月27日高齢者福祉課 臼井課長補佐、森山さん

- (1)現在のもやいに依頼している通所サービスCの利用者は7人(全体では約50件程度)
 - ・事前に利用者に会うことは必須(担当者会議で行う)
 - ・ケアセンター八王子の現在の体制では月間利用者10人を想定している
 - ・ケアセンターが日時の調整を行うことにより、最大20人程度まで可能?
 - ・現状では送迎できないとき、受付を一時中断する
- (2)現在の受け入れ病院は①山王病院、③東京天使病院、③みなみ野心臓リハクリニック
 - ・初回の送迎時にはリハ室まで送っている
- (3)月間報告書について
 - ・運転者毎の記録が望ましい
 - ・コーディネート時、運行時の課題等の記録や利用者の感想についてもお願いしたい
- (4)通所C専用電話機の購入 080-3418-0081
 - ・Yモバイルの専用スマホと利用代金がかかったが、サービス向上のための先行投資

【2】11月2日高齢者いきいき課 立川課長

- (1)用件は全国移動サービスネットワークより協力願いのあった「第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に向けて(要望)」の提出した(受理された)
- (2)通所サービスCの今後の計画について
 - ①通所サービスCは保険事業(総合事業)として考えている。(指定事業所を募集予定)
 - ・送迎分を謝金として支払う(誰でも出来るかが問題:白タク行為?)
 - ②ケアセンター八王子だけでは出来ないときは、他の福祉有償運送団体へ依頼することも検討

- ・しかし、現在の福祉有償を行っているところは他の送迎を行う余裕がない？(アンケート集計参照)
- (3) 八王子には福祉有償運送の事業所は11団体しかなく、育てるべき
 - ・3多摩福祉有償運送運営協議体を脱会し、八王子の独自の協議体を作るべき(提案)
- (4) 立川課長はいきいき課の課長であり、第1層生活支援コーディネーター(担当は高齢者いきいき課)についてはあまり詳しくない。

【3】東京高専・山下先生との打合せ

(1) GPS ロガーの設置

- ①貸出し車両用として5台引き取り
- ②現在設置中の物は拡張性が悪いので、新しいタイプを作成した(旧型は返却必要)
- ③新しいシステムは、高専の「soracom」(旧:bowler)
 - ・メールアドレス info@moyai802.com (もやいホームページよりアクセス)
 - ・パスワード XXXXXXXXXX
- ④データ管理費用(ネット管理)の清算を、もやいのカード支払いとした
 - ・2,000 円位/月(GPS カード6枚分)

(2) データ入力・出力システムは先の分で一応完成(運行管理)

- ・将来は総合事業・サービス C への対応が必要かも？

(3) 今後の展望(大学コンソーシアムで成果発表の内容)

現在、予約機能と GPS ログ機能から得られたデータの可視化部分を開発中である。GPS ログ機能は 2020 年 9 月現在、1 台のみで実証実験を行っていた。10 月より 5 台の車による運用を開始する予定である。このテストにより、貸し出された車の詳細な運用状況を分析することが可能となるため、それらの分析を通して、配車の効率化や運転の安全評価の手法についても検討していきたい。

最終的には、このシステムで集めた予約の傾向や車の移動記録等の情報を利用することで、移動支援を受ける高齢者や障害者、移動支援を提供する団体、モビリティを提供するもやい、そして八王子市、それぞれがそれぞれの立場で現状を可視化し、問題点を分析し、その支援ネットワーク全体を最適化していけるような、「地域密着型モビリティサポート プラットフォーム」を構築することを目指す。

(もやいで名称:「もやい Maas システム」)

(4) その他の確認事項

- ①今年度の授業での取り組みは終了した。今後は中野君、佐野君で卒業研究として取り組む。
- ②来期も4年生が引き続き取り組む予定で、11月10日(火)顔合わせ会を行う(大福、田中も参加)
- ③今年度末でのこのシステムの完成度は、データ管理システム(現在の物)と GPS ロガーのデータ処理(位置情報:リアルタイム処理、運行経路、スピード管理、移動時間集計、などを予定)

(5) 2021年度以降の計画について

- ①2021 年度、山下先生不在時の対応(フィンランド・ヘルシンキ大学へ勤務)
 - ・高専として替わりの先生はいないため、現在の人員で対応、従って担当する先生により進行に支障をきたすことも予想される
 - ・来季も社会実装プログラムとして行うので、特に費用の発生ない(予定)

【4】その他

①八王子保険生協の送迎ケース

- ・送迎車両 7台 300回／月(年間 3,000 回以上)
- ・ボランティアドライバー数 15人 (200円／時間)
- ・生活支援サービス 利用者負担 1,000 円／2時間 (ボランティアへ30%還元)

②太子町への視察 (太子町社会福祉協会)

- ・コロナ対策として車を使用(定員4名)
- ・1泊2日 (住所:大阪府南河内郡太子町大字春日 963-1 町立総合福祉センター内)
- 電話番号 0721-98-1311 ファックス 0721-98-2111
- 業務時間 午前9時～午後5時30分 (休業日 毎週土・日曜日及び祝日)
- 最寄り駅 近鉄南大阪線「上ノ太子」駅

<次回定例会>

日時 : 2020年11月19(木) 13:00～14:30

場所 : 八王子市市民活動支援センター

以上

<アンケート集計>

- ・ 担い手になっても良い... 34 団体 (22.2%)
 - ・ 担い手になるか否かは補助金等の条件しだい... 48 団体 (31.4%)
 - ・ 現在実施中のサービスで手一杯なので担い手にはなれない... 45 団体 (29.4%)
 - ・ その他... 21 団体 (13.7%)
 - ・ 無回答... 5 団体 (3.3%)
- という結果となった。

「担い手になっても良い」と「補助金等の条件しだい(で担い手になっても良い)」との回答の合計は、全 153 団体中 82 団体 (53.6%)、半数以上を占めている。

